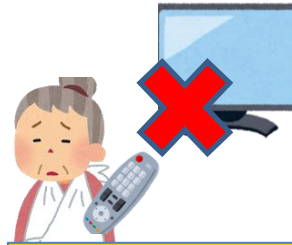


# AIと画像技術を用いた福祉支援システムの開発

情報システム系 教授 藪木 登

## 研究の動機

身体の不自由な方や高齢者では、自分自身で、電化製品等の装置を操作することが難しい場合があります。そのため、介助者が必要となっています。



電化製品の操作



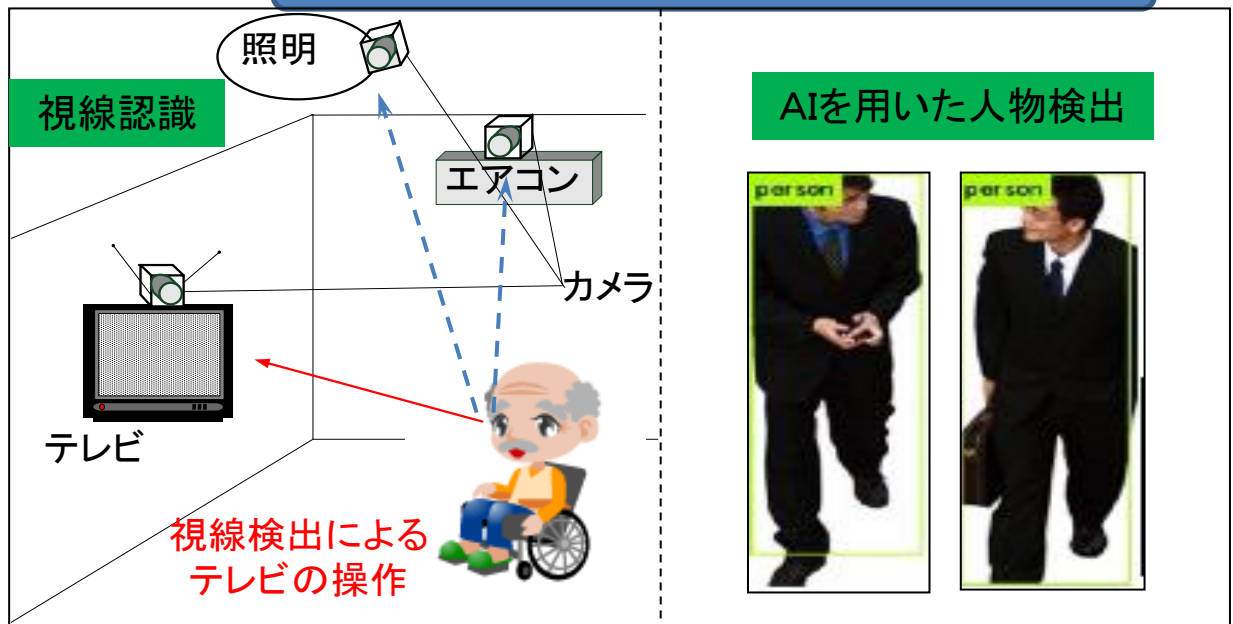
手話による会話

## 研究の目標

AIを用いて利用者の視線や身振り、環境を理解し、電化製品等を操作したり、人の手助けをする装置を作り上げていきます。

## 研究の内容

### 福祉支援システムの概要



## 研究の様子

(5年生の卒業研究で実施)



周囲7方向からのカメラで撮影

正面顔画像の抽出結果



赤枠が顔検出結果

今後の目標: AIを活用した福祉支援システムの多機能化・性能向上